

今後のタイムライン検討について

平成29年12月20日
荒川下流域を対象としたタイムライン(事前防災行動計画)
専門部会(第3回)

タイムラインを充実・改善していく観点について

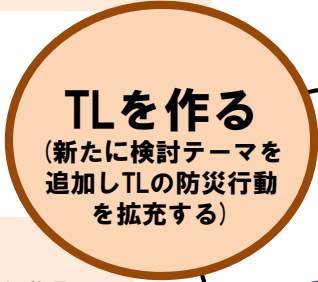
■今後、以下の3つの観点に着目したTL充実・改善の検討を進めていく

● 既存のタイムラインに新しい
検討テーマを追加する

● 運用結果に基づき使いやす
さ向上のために改善する

■これまで、Cブロックでは
防災行動項目を検討する際に、
あるエリアの防災課題に着目し特
定の「検討テーマ」を設けてタイム
ラインを検討してきた。
(「パッチワーク方式」と称す。)

<事例>
住民避難に着目した行動項目
避難行動要支援者施設に着目した行動項目
交通の運行状況に着目した行動項目
→Cブロックの現在検討テーマ
「要配慮者利用施設の避難確保計画
作成等を支援」



● タイムライン運用者の資質を向上する
● 新たにタイムラインに携わる担当者の
知識・運用能力を向上する

タイムラインを作る

- 既存のタイムラインに新しい観点を追加するため、
今後協議した上で必要に応じて検討テーマを設けた議論を実施していく

No	16市区ヒアリング(12/4～18実施)で把握された検討テーマ例
1	広域避難者の受け入れに着目した行動
2	広域避難を行う際の公共交通機関を利用した避難に着目した行動
3	道路交通規制に着目した行動
4	住民救助に着目した行動

○上記以外で「検討テーマ」があれば、ご提案ください

2

タイムラインを使う・改善する

- これまでのTL運用の課題意見に基づき、使いやすさ向上にむけた改善のため、
過去の課題を含めて議論を実施していく

No	課題の区分	課題意見の概要	対応策案
1	タイムラインの体裁の簡素化	<ul style="list-style-type: none">表記の仕方が異なるだけで内容が同じような防災行動がある。可能な限り統一し、項目の簡素化が必要。(H29年度)	<ul style="list-style-type: none">TLの簡素化の方針を議論した上で、TLの記載の簡素化を実施
2	継続検討が必要な防災行動	<ul style="list-style-type: none">青文字の「継続検討が必要な防災行動項目」について今後も検討が必要。(H29年度) <p>【特に継続検討の必要性が指摘された意見：広域避難と鉄道運行について】</p> <ul style="list-style-type: none">鉄道の運行停止時期等については、江東5区の広域避難の議論を踏まえた検討が必要。(H29年度)風の影響で鉄道の運転見合せも発生するため、風速も考慮した避難の検討が必要。(H29年度)	<ul style="list-style-type: none">現状の「青文字」部分の記載毎に、関係機関と継続的な検討方針を議論し、可能なものから順次「黒文字」にしていく

3

タイムラインを使う・改善する

■これまでのTL運用の課題意見に基づき、使いやすさ向上にむけた改善のため、過去の課題を含めて議論を実施していく

No	課題の区分	課題意見の概要	対応策案
3	タイムライン上の防災行動と実対応の不一致	<ul style="list-style-type: none"> 気象警報も出ておらず、天気も良い状態で土嚢積み等を現場に依頼しても理解が得られない。(H28年度) 荒川決壊から浸水開始までに時間的猶予があることから防災行動のタイミングが早い。(H29年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 各機関で防災行動の実施タイミングや記載内容の見直しを実施
4	タイムラインの運用基準	<ul style="list-style-type: none"> 台風第21号では熊谷と治水橋で氾濫注意情報が発表されたがタイムラインレベルが進展しなかった。(H29年度) 台風の規模を考慮した運用基準又はタイムラインの活用方法を検討する必要がある。(H29年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 適用の実際の状況を説明し、意見交換を行った上で、運用基準の見直しが可能かどうか検討を実施

4

タイムラインを使う・改善する

■これまでのTL運用の課題意見に基づき、使いやすさ向上にむけた改善のため、過去の課題を含めて議論を実施していく

No	課題の区分	課題意見の概要	対応策案
5	タイムライン運用時の情報共有の内容	<ul style="list-style-type: none"> 各フェーズの通知メールについて、1日1通では状況判断材料として乏しく感じる。(H29年度) TL適用理由を提示して欲しい。(H29年度) TLLレベルと目安の時刻は、事態が進展するにつれて記載と現実が乖離してくるので、どう判断してTLLレベルと目安の時刻が設定されたかわかる情報を提供して欲しい。(H29年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 必要とされる情報共有内容について議論し、事務局で見直し案を作成し、確認協議を実施
6	タイムライン運用時の対応状況の共有方法	<ul style="list-style-type: none"> 一連の連絡はスマートフォンのサイトを作成し情報共有ができればよい。(H27年度) 対応状況の共有方法が不明確だった。(H29年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度検討している情報共有システムにより、次年度以降は対応の共有を図る(次回検討会でシステム紹介予定)

○上記以外で議論すべき課題があれば、ご提案ください

5

タイムラインについて学ぶ

■タイムライン運用者の資質を向上し、新たにタイムラインに携わる担当者の知識レベルを向上するため、
 検討機関の要望に応じてテーマを定めた勉強会等を実施していく

No	課題の区分	課題意見の概要	対応策案
1	想定ハザード	• タイムラインの想定ハザードについて知りたい(H29年度)	• タイムラインの想定ハザードや気象・水位のシナリオについて再度紹介
2	活用方法	• 河川管理者や各機関がどのようにタイムラインを活用しているのか事例を教えてほしい(H29年度)	• 荒川下流河川事務所や他地域でのタイムラインの活用事例を紹介
3		• 上流水位観測所を基準に避難勧告する想定だが、TLは岩淵を基準にOHが設定されている。どのように対応すべきか勉強したい(H29年度)	• 上流水位の活用方法についての勉強会を実施
4	運用基準	• タイムライン運用基準を知りたい(H29年度)	• TL運用基準を紹介
5	机上訓練	• 机上でのタイムライン訓練を定期的に行いたい(H29年度)	• 当面、検討会等の中で机上訓練を実施

○上記以外で学びの観点があれば、ご提案ください

6

【参考】その他のヒアリング等で得られた意見・要望

No	区分	テーマ意見(ヒアリング結果)の概要
1	「学ぶ」又は「作る」	• 他の自治体が避難情報を住民にどのように伝達しているか意見交換し、有益な防災行動があれば、タイムライン上に記載し共有したい
2		• 水位が上昇した際の水門・排水機場等の河川施設の運用について勉強し、それに基づく必要な防災行動について勉強したい。また、それに応じて必要な防災行動を検討したい
3	「学ぶ」	• 要配慮者施設の避難確保計画の策定支援について、先行する取組(国の避難確保計画の雛形の肉付けの仕方、どこまでの施設を対象とするかの基準等)を共有したい
4		• 庁舎が浸水する想定自治体・機関で、どのような対策や防災行動を行う必要があるのか意見交換したい
5		• 住民の防災行動を定めるタイムラインについて、先行する取組について勉強したい。その上で将来的には、現行の行政用のタイムラインをどのように住民のタイムラインとしていくか検討したい
6	「学ぶ」又は「使う」	<ul style="list-style-type: none"> • TLレベルと目安の時刻が進展するにつれてTL記載の防災行動と現実が乖離してくるので、TL想定ハザードのシナリオと実際はどれくらい違っている状況なのかわかる情報提供のあり方について議論したい • 天候が好転してきた、水位上昇がこれ以上はないなど、状況が安全になってきた方向性の情報提供は頂けないか
7		<ul style="list-style-type: none"> • 荒川下流TLとは異なるが、中川や中小河川、支川の情報提供があると参考になる • 中小河川用のタイムラインを独自で作りたいが、作り方などの勉強会がしたい

7